

1, WiSAS センサー適正配置

WiSAS センサーは電波（LTE 回線）を利用するため、設置環境が探知の精度に大きく影響します。よって、設置位置を決める際は、以下の点に配慮する必要があります。例えばビジネス街のような人口密集地や同じビル内の執務室であっても、また時間帯によっても様々な要因で電波干渉を受けるケースがあり、設置には電波の特性を理解した上で最適な場所を選ぶことが必要です。

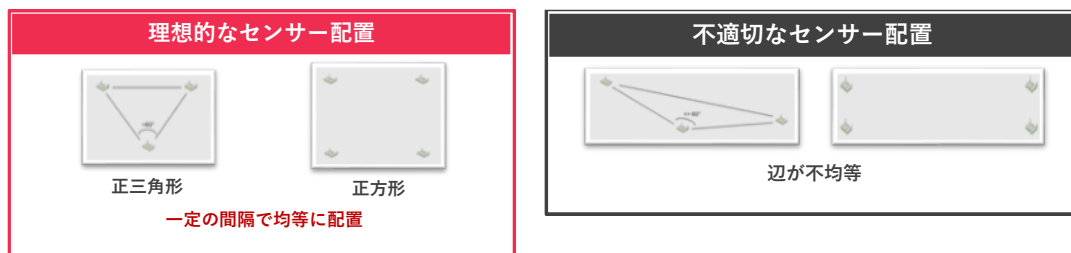
<設置位置を決める際に配慮すべき点>

- ▲ 干渉波（電子レンジ、モーター等）の傍への設置は避けること
- ▲ 遮蔽物（壁、パーティション、柱、キャビネット等）の傍への設置は避けること
- ▲ 建物の構造（閉鎖／吹き抜け）に留意すること
- ▲ 対象となる場所の設備（ラックや棚などの中への設備は避けること
- ★ 設備の材質（鉄、コンクリート、木材等）でも干渉される場合があります。
- ★ 高所・・・人間も干渉要因ゆえ、できれば遮蔽物の影響を受けづらい高所がベター
- ★ 対象エリアの中央（カバーエリアを考慮する必要があります）

※WiSAS センサーは常に最適な電波を探知しており、電波状態が悪い場合はリセットするように設計されています。常時監視サービスをご導入頂いた場合は必ず死活監視対象になりますが、できれば設置前のフロアマップの確認や現地調査など、最適化にご協力をお願い申し上げます。

2, WiSAS センサー適正配置（位置情報分析）

位置情報分析サービスをご利用頂く場合、3 台以上の WiSAS センサーをグループ化して同一フロアに設置します。理想的なセンサー配置と不適切なセンサー配置のイメージを記載します。



3, 有線ネットワーク接続における留意点

場所によっては電波が弱い場所や電波干渉を受ける場所が存在します。その場合は有線ネットワーク経由で通信させることができます。監視対象がクリティカルなエリアであるなら、むしろ有線ネットワーク接続をお勧めいたします。その場合は以下の点にご留意ください。

- ① インターネット接続環境が必要（プロキシサーバ経由不可）
- ② 固定 IP アドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイ情報が必要
- ③ 接続先ネットワーク機器の空きポート・LAN ケーブルが必要